

証券コード：6748

SEIWA

創意  革新

モノづくりの原点を見つめ、これから変わるもの変わらぬもの。

2020年12月期 第1四半期

2020年8月7日

決算補足資料

皇和電機株式会社

■ 売上高 前年同四半期より18.7%増加

増加：公共設備関連の道路情報表示システムおよびトンネル照明器具、民間設備関連の産業用照明器具

減少：産業用配線保護機材および配管保護機材、電磁波環境対策部品

■ 利益 前年同四半期より悪化

照明機器事業は増益だが、情報機器事業およびコンポーネント事業は減益で全体として減益

(単位：百万円)

	2020年3月期 第1四半期	2020年12月期 第1四半期	増減	増減率(%)
売上高	4,042	4,798	755	18.7
売上総利益	753	596	△157	△20.9
販管費	817	984	167	20.4
営業利益	△63	△388	△324	—
経常利益	△64	△377	△312	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	20	△306	△326	—
自己資本当期純利益率(%)	0.2	△2.8	△3.0PT	—
総資産経常利益率(%)	△0.3	△1.3	△1.0PT	—
売上高営業利益率(%)	△1.6	△8.1	△6.5PT	—

(官需比率)

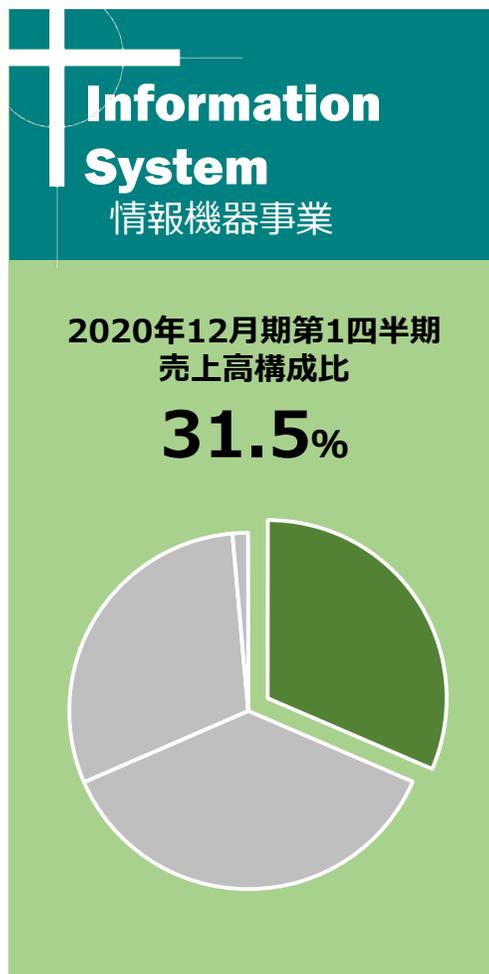
34%

39%

セグメント別の状況 ①情報機器事業

SEIWA

(単位：百万円)



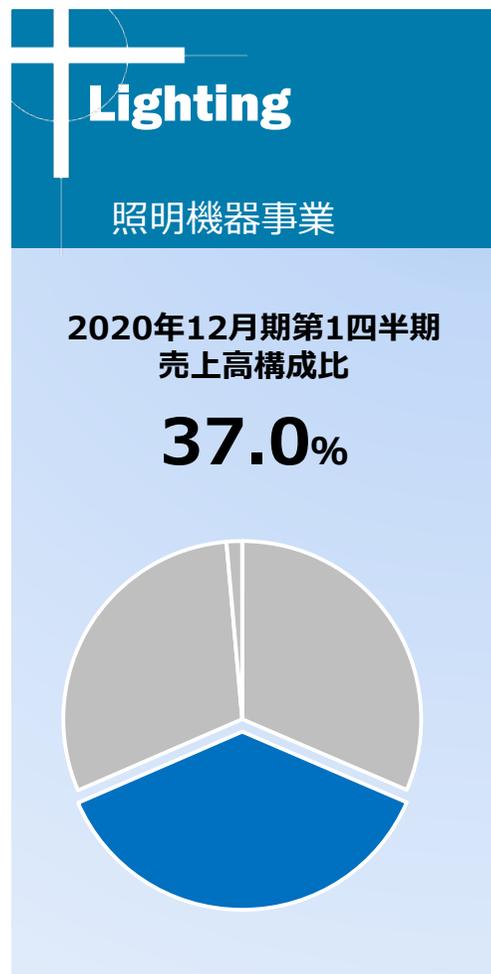
	2020年3月期 第1四半期	2020年12月期 第1四半期	増減	増減率(%)
売上高	1,249	1,510	260	20.9
セグメント利益	△77	△510	△433	-
受注高	2,983	4,077	1,094	36.7
受注残高	9,926	11,203	1,276	12.9

- (売上高) 期初の受注残高が多く、高速道路向けが大きく増加
- (利益) 前年同四半期と比べ原価率の高い案件が多く、減益
- (受注残高) 前年同四半期と同様に例年より高い水準で推移
- 新型コロナウイルス感染拡大による影響はほぼ無し

セグメント別の状況 ②照明機器事業

SEIWA

(単位：百万円)



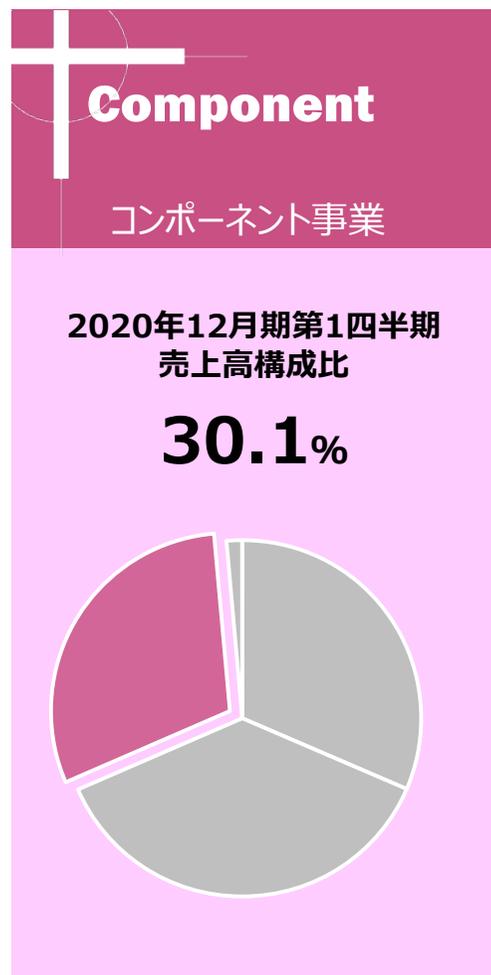
	2020年3月期 第1四半期	2020年12月期 第1四半期	増減	増減率(%)
売上高	1,176	1,774	598	50.8
セグメント利益	△13	246	259	-
受注高	2,185	1,974	△211	△9.7
受注残高	1,684	1,645	△38	△2.3

- (売上高) LED照明器具は堅調、トンネル照明は大幅な増加
- (利益) 売上の増収により増益
- (受注残高) 前年同四半期と同水準
- 新型コロナウイルス感染拡大による影響はほぼ無し

セグメント別の状況 ③コンポーネント事業

SEIWA

(単位：百万円)



	2020年3月期 第1四半期	2020年12月期 第1四半期	増減	増減率(%)
売上高	1,567	1,445	△122	△7.8
セグメント利益	237	224	△13	△5.8
受注高	1,601	1,448	△153	△9.6
受注残高	220	240	20	9.3

- (売上高) 産業用配線保護機材、配管保護機材、電磁波環境対策部品が減少
- (利益) 減収により減益
- (受注残高) 前年同四半期と同水準
- 新型コロナウイルス感染拡大により電磁波環境対策部品に影響あり

(単位：百万円)

	2020年3月期 期末	2020年12月期 第1四半期末	増減
資産	29,923	26,660	△3,262
流動資産	22,711	19,625	△3,085
受取手形及び売掛金	13,813	9,776	△4,037
固定資産	7,211	7,034	△176
負債	18,730	15,912	△2,817
流動負債	16,906	14,406	△2,499
短期・1年内返済予定長期借入金	8,075	6,625	△1,450
固定負債	1,824	1,505	△318
純資産	11,192	10,747	△444
利益剰余金	3,016	2,513	△503
非支配株主持分	25	23	△1
総資産	29,923	26,660	△3,262
<自己資本比率>	37.3%	40.2%	2.9PT

主な増減理由

- (資産) 売掛債権の回収による受取手形及び売掛金の減少
- (負債) 借入金の返済による短期借入金等の減少
- (純資産) 親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少

決算期変更について

SEIWA

2020年12月期（当期）より決算期（事業年度の末日）を3月31日→**12月31日**に変更
※決算期が12月31日以外の連結子会社も変更

変更理由

売上高等の季節要因に伴う業績への影響を緩和し、事業運営の効率化を図る

2020年3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2019年4月1日～2020年3月31日	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
2020年12月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	9か月決算
2020年4月1日～2020年12月31日	4～6月	7～9月	10～12月	
2021年12月期～	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2021年1月1日～2021年12月31日	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月

2020年12月期業績見通し①

SEIWA

2020年5月13日に公表した業績予想からの修正：**無し**

売上高：通期の売上高は達成する見通し。

- ・主力事業である情報機器事業の通期売上高は75億円に対し、当第1四半期時点の受注残高は112億円と順調に受注が増え、達成する見通し。
- ・その他の事業についても、概ね達成する見通し。

(単位：百万円)

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	2020年12月期 通期予想
売上高	13,845	11,849	15,423	17,200
情報機器	4,208	2,933	5,883	7,500
照明機器	5,304	4,498	5,205	5,500
コンポーネント	4,099	4,191	4,040	4,000
その他	232	226	294	200

当期は2020年4月1日から2020年12月31日の9か月間となるため、9か月間の実績である第3四半期連結累計期間の業績を参考値としております。

	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	2020年12月期 第1四半期
受注残高 情報機器	4,790	4,553	9,926	11,203

2020年12月期業績見通し②

SEIWA

2020年5月13日に公表した業績予想からの修正：**無し**

利益：通期の利益も達成する見通し。

(単位：百万円)

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	2020年12月期 通期予想
営業利益	△560	△754	114	300
経常利益	△563	△752	122	270
親会社株主に帰属する 当期純利益	△447	△309	178	150

当期は2020年4月1日から2020年12月31日の9か月間となるため、9か月間の実績である第3四半期連結累計期間の業績を参考値としております。

- (設備投資) 主に器具備品や照明器具、樹脂成形品の金型等
- (研究開発) 「省エネルギー」と「人と環境を考えたものづくり」
キーワードは「環境配慮」

(単位：百万円)

	2020年3月期 第1四半期	2020年12月期 第1四半期	増減	2020年3月期 第3四半期	2020年12月期 通期予想	増減
設備投資	55	71	16	246	450	203
減価償却費	113	126	12	378	400	21
研究開発費	73	99	25	278	300	21

当期は2020年4月1日から2020年12月31日の9か月間となるため、参考として前期の9か月間の実績である第3四半期連結累計期間の数値を記載しております。

皇和電機株式会社

TEL: 0774-55-8181

FAX: 0774-58-2034

E-mail: info@seiwa.co.jp

<https://www.seiwa.co.jp>

当資料には、2020年8月7日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関するリスクや不確定要素により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による影響は不確定要素が多く、今後想定外の状況となった場合には将来の業績に影響を与える可能性があります。